

## 2021 年度 事業報告書

### 1. 2021 年度活動指針

5 年戦略(2018~2022 年)「想像以上の未来へ」を実現するため、日本人の特にジュニア世代と女性の参加者やファンの増加を図る。また、クリケットの発展を担う人材の育成を進める。

### 2. 2021 年度重点目標

重点戦略	重点事業	事業報告
ジュニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校の授業向け教材や教員向け研修会を通してクリケット授業を導入する小学校を増加させる。</li> <li>● CRICKET BLAST シリーズのプロモーションをより効果的に行うことで参加者を増加させる。また、スクールシリーズ(放課後プログラム)の参加者をさらに増加する。</li> <li>● 中学校や高等学校におけるクラブを増加する。</li> <li>● 川崎市でジュニアクラブを開設する。また、他のジュニアクラブについてもメンバーを増加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校の授業向け教材の見直しを進めた</li> <li>● 教員向け指導者育成講習会を実施した</li> <li>● CRICKET BLAST シリーズ佐野(秋季)において他スポーツとのコラボを実施</li> <li>● インターナショナルスクールでのクリケット実施を支援</li> <li>● 川崎ジュニアクラブを 4 月に開設</li> </ul>
ソーシャル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>気軽に参加できるソーシャルクリケット機会を効果的に発信し、パートナー企業、重点拠点地域などと連携して日本人の参加者を増加する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポンサー感謝デーでソーシャルクリケットを実施</li> <li>● Women's J-BASH ソーシャルを 3 回開催</li> <li>● 佐野クリケット祭りを 3 回開催</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仙台市周辺でのグラウンド利用交渉を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宮城県亘理町が東北地方の「クリケットのまち」に決定し、グ</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 愛知県内で連携できる自治体を探す。</li> <li>● 貝塚市立クリケットフィールドに練習ネットを設置する。</li> </ul>	<p>ラウンドを確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 貝塚市立クリケットフィールドに設置するネットについて調査</li> </ul>
人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域協会への支援を強化(運営、大会、ジュニアプログラムなど)</li> <li>● 各種指導者育成講習会を開催し、クリケット活動の発展を担う人材の育成を進める。</li> <li>● 重点拠点におけるクラブの育成を進める。</li> <li>● JCA ウェブサイト上で運用できる新たなスコアシステムを導入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各地域協会の大会運営支援を実施</li> <li>● 関西地域においてアンパイア講習会を開催</li> <li>● JCL1 部の審判団を結成</li> <li>● 佐野クリケットクラブの組織強化を支援</li> <li>● 新スコアシステムを導入</li> </ul>
PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な普及活動、日本代表、主要イベントに関するプロモーションを強化する。</li> <li>● 定期的なライブ配信やビデオ配信を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ウェブサイト、SNS、ニュースレター、試合のライブ配信、プレスリリース配信などを実施</li> </ul> <p>【全国版メディア掲載】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● NHK で木村昇吾選手の挑戦放送</li> <li>● 朝日新聞 withnews に山本武白志選手の挑戦記事掲載</li> <li>● BS フジで山本武白志選手の挑戦放送</li> <li>● NHK E テレが山本武白志選手の挑戦密着中</li> <li>● 雑誌「河川」に寄稿</li> <li>● 雑誌「地域人」に佐野市における「クリケットのまち」づくりに関する記事が掲載</li> <li>● 山本武白志選手、和田颯太選手、脇田康平選手が The Answer で紹介</li> <li>● NHK のリトルインディア西葛西特集でクリケット紹介</li> <li>● 産経新聞「スポーツ茶論」でクリケット紹介記事が掲載</li> </ul> <p>【地域版メディア掲載(3.実施事業 3)強化事業：PR・ファン醸成を</p>

		参照)】
日本代表	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選手合意書や負担金を見直す。</li> <li>● 重点拠点や体育大学において女子選手発掘プロジェクトを実施する。</li> <li>● 2021 年に実施される国際大会への強化を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選手合意書及び負担金制度を改訂</li> <li>● 筑波大学及び仙台大学で女子選手発掘を開始</li> <li>● 東アジアカップの継続を関係協会と合意</li> <li>● プロリーグに日本代表選手を推薦し、1 名がプロ契約</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クリケットに関心がある人や企業とのネットワークを広げる。</li> <li>● 受益者負担型プログラムを拡大して収入を増加させる。</li> <li>● パートナー企業との関係を強化し、新規スポンサーを獲得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存パートナーと協議し、パートナー活動を実施</li> <li>● 三井農林株式会社とスポンサー契約を締結</li> <li>● ハイパフォーマンスマネージャーによる SICG アカデミーを開設</li> <li>● 事務所移転を完了、ティールームをオープン</li> </ul>

### 3. 2021 年度実施事業

#### 1) 普及事業

事業名	事業内容					事業報告
「クリケットのまち」づくり	地域 / まち	ジュニア	ソーシャル	施設	サポータークラブ	<b>【東北】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 5 回メディア露出（話題数）</li> <li>● 宮城県巨理町と「クリケットのまち」協定締結、新規グラウンド確保</li> </ul> <b>【佐野】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クリケットブラスト、ソーシャルリーグは別項目参照</li> <li>● サポータークラブの 2020 年受領会費は、約 5,453 千円</li> </ul>
	東北			○		
	北関東 / 佐野	○	○	○	○	

	<table border="1"> <tr> <td>西関東 / 昭島</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>東関東 / 山武</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東京近郊 / 川崎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東海 / 富士</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東海 / 愛知</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関西 / 貝塚</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	西関東 / 昭島	○	○	○	○	東関東 / 山武	○	○	○		東京近郊 / 川崎	○	○	○		東海 / 富士			○		東海 / 愛知			○		関西 / 貝塚	○	○	○		その他			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 13 回メディア露出</li> </ul> <p>【昭島】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クリケットブラスト、ソーシャルリーグは別項目参照</li> <li>● サポータークラブの 2020 年受領会費は、2,172 千円</li> <li>● 3 回メディア露出</li> </ul> <p>【山武】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グラウンドを年間予約</li> </ul> <p>【川崎】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 回メディア露出</li> </ul> <p>【東海】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 回メディア露出</li> </ul> <p>【貝塚】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クリケットブラストは別項目参照</li> <li>● グラウンドを年間予約</li> <li>● 1 回メディア露出</li> </ul>
西関東 / 昭島	○	○	○	○																																	
東関東 / 山武	○	○	○																																		
東京近郊 / 川崎	○	○	○																																		
東海 / 富士			○																																		
東海 / 愛知			○																																		
関西 / 貝塚	○	○	○																																		
その他			○																																		
<p>CRICKET BLAST プログラム</p>	<p>楽しいクリケットの体験、学習、習慣づける機会を「クリケットのまち」を中心に提供する。特に普及員研修、教員研修、大学やスポーツ団体などとの連携によって指導者やボランティアの育成及び教材開発を図る。</p>	<p>【佐野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校プログラムで、7 校、29 回で 237 人(延べ 1,171 人)に体験・学習提供</li> <li>● 体験会で、10 回開催し、349 人が参加</li> <li>● スクールシリーズで、2 校、2 シリーズを実施、43 人(延べ 369 人)が参加</li> <li>● 春季シリーズで、4 回実施し、31 人(延べ 122 人)が参加</li> <li>● 秋季シリーズで、4 回実施し、70 人(延べ 180 人)が</li> </ul>																																			



		<p>参加</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 市長杯で、6 チーム約 40 人が参加</li><li>● 教員向け指導者育成講習会で、1 回開催し、25 人が参加</li><li>● ボランティア向け研修会で、1 回開催し、7 人が参加</li></ul> <p>【昭島】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 学校プログラムで、7 校、99 回で 964 人(延べ 3,009 人)に体験・学習提供</li><li>● 体験会で、1 回実施し、250 人が参加</li><li>● 部活動で、62 回実施支援し、3 名所属</li><li>● 春季シリーズ(オンライン)で、3 回実施し、27 人(延べ 72 人)が参加</li><li>● 秋季シリーズで、4 回実施し、12 人(延べ 41 人)が参加</li><li>● 市長杯で、10 チーム 68 人が参加</li><li>● 教員向け指導者育成講習会で、1 回実施し、13 人が参加</li></ul> <p>【川崎】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 学校プログラムで 1 校、3 回で 88 人(延べ 88 人)に体験・学習提供</li><li>● 夏季シリーズで、3 回実施し、31 人(延べ 84 人)が参加</li></ul> <p>【江戸川】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● スクールカップで、1 回開催し、8 チーム 49 人が参加</li></ul> <p>【貝塚】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 学校プログラムで 1 校、5 回で 20 人(延べ 100 人)に体験・学習提供</li></ul>
--	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体験会で、1 回開催し、50 人が参加</li> <li>● 春季シリーズは、新型コロナウイルスの影響で中止</li> <li>● 秋季シリーズで、4 回実施し、29 人(延べ 77 人)が参加</li> <li>● ボランティア向け研修会で、1 回開催し、7 人が参加</li> </ul> <p>【三重】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルスの影響で中止</li> </ul>
ジュニアクラブ	<p>財政的に自立した地域クラブを「クリケットのまち」中心に展開し、小学生から高校生までのジュニア層に日常的にクリケットをする機会を提供するとともに、生涯にわたってスポーツにかかわる習慣や情熱を育む。また、クリケットの発展を担う人材や世界で活躍できる選手の育成を図る。</p>	<p>【佐野ブレイブス(ハードボール)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎週、月曜日開催、20 人所属</li> </ul> <p>【佐野オリオンズ(ソフトボール)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎週、木曜日(エンジョイ、スキルアップ)と金曜日(エキスパート)開催、16 人所属</li> </ul> <p>【佐野ウォータークラウン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎週、水曜日(エンジョイ、スキルアップ)、5 人所属</li> </ul> <p>【昭島アビエーターズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎週、金曜日(エンジョイ、エキスパート)開催、25 人所属</li> </ul> <p>【川崎】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たなジュニアクラブを開設、毎週、水曜日(エンジョイ、スキルアップ) 開催、4 人所属</li> </ul> <p>【オンライン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルスの影響で活動が中断している期間に昭島のメンバーなどを対象にオンラインクラスを提供</li> </ul>
ジュニアチーム	<p>特に「クリケットのまち」などの周辺の中学、高校、インターナショナルスクールなどで U19 や U15 の学校チームの設立を支援し、</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケイ・インターナショナルスクール東京とクリケット活動について協議を開始</li> </ul>

	U15 や U19 世代での競技人口増加を促進する。	
パートナーシップ	<p>世界のクリケット関係団体との人材交流によって、スポーツの発展に必要な専門的人材を確保・育成するとともに、スポーツによる国際親善を促進する。</p> <p>提携団体：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Cricket Victoria</li> <li>● Marylebone Cricket Club</li> <li>● Cricket Without Borders</li> <li>● Maribyrnong Sports Academy</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CV スタッフ招聘、MCC スタッフまたは選手招聘、Cricket Without Borders インターンシップ、Maribyrnong Sports Academy への選手派遣などは新型コロナウイルスの影響で中止</li> </ul>
CRICKET FOR SMILES プログラム	復興支援事業として、東北地域の「クリケットのまち」の候補地選定を推進し、仙台大学女子日本代表チャレンジを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仙台大学クリケット部へのコーチ派遣を実施</li> <li>● 東北地域の「クリケットのまち」を巨理町に決定</li> </ul>
指導者育成	リーグやクラブにおいて、コーチ・アンパイア、スコアラーなどを育成し、競技人口増加、選手育成、大会運営を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関東、関西でアンパイア講習会を開催</li> <li>● 愛知で予定されていた講習会は新型コロナウイルスの影響で中止</li> </ul>
グラウンド維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 佐野市国際クリケット場</li> <li>● 佐野第 1~4 クリケット場</li> <li>● 富士第 1~2 クリケット場</li> </ul>	<p>【佐野市国際クリケット場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2020 年度の業務報告</li> <li>● 2021 年度の整備計画立案と受注</li> <li>● 維持管理業務の実施</li> </ul> <p>【佐野第 1~4 クリケット場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 維持管理の実施</li> </ul> <p>【富士第 1~2 クリケット場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 芝刈り機へのクルーズコントロール取付、スウィーパーの購入</li> <li>● 維持管理の実施</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● グラウンドマネージャーとの調整</li> </ul> <b>【貝塚市立クリケットフィールド】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ブロワー、芝刈り機、集草袋の購入</li> <li>● 倉庫の購入・設置(関西クリケット協会)</li> </ul>
施設整備	<p>各地域で戦略的立地にグラウンドや練習設備の整備を進め、競技人口増加を促進させるとともに、交流人口の増加やグラウンド周辺での普及活動によって地域との共栄を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 仙台市周辺でのグラウンド利用交渉</li> <li>● 昭島市近辺でのグラウンド候補地の調査</li> <li>● 愛知県でのグラウンド候補地の調査</li> <li>● 貝塚市立クリケットフィールドに練習ネットを設置</li> </ul>	<b>【仙台市周辺でのグラウンド利用交渉】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 亘理町のグラウンドを東北大会で利用することが決まり、東北地域の「クリケットのまち」として協定締結</li> </ul> <b>【昭島市近辺でのグラウンド候補地の調査・協議】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 武蔵村山市観光まちづくり協会と協議</li> </ul> <b>【貝塚市立クリケットフィールド】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 練習ネットに関する研究・調査を実施</li> </ul> <b>【佐野市国際クリケット場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第 2 グラウンドの南エリアの整備</li> <li>● ティールームをオープン</li> </ul> <b>【北海道視察】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 競馬用の牧場に勤務するインド人が数百人在住し、クリケット試合を開催しているため、浦河町と新ひだか町を視察</li> </ul>

## 2) 大会事業

事業名	事業内容	事業報告
ハードボール大会 (U15/U19/大学/女子/男子)	それぞれの年齢、性別、レベル、形式に応じた全国大会を開催する事で、地域大会の開催を支援し、プレーする場を提供するとともに、スポーツツーリズムを推進し、地域との共栄を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本プレミアリーグ、関東及び関西の 5 地域代表が出場</li> <li>● ジャパンカップ全国決勝大会、6 地域から 12 チームが</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日本プレミアリーグ</li><li>● ジャパンカップ全国決勝大会</li><li>● ジャパンカップ地域予選(東北、北関東、東関東、西関東、南関東、東海、関西)</li><li>● 日本クリケットリーグ</li><li>● 富士 40 リーグ</li><li>● 佐野 40 リーグ</li><li>● Women's J-BASH</li><li>● 日本女子クリケットトーナメント</li><li>● 日本女子クリケットリーグ</li><li>● チャンピオンズウィケット(学生)</li><li>● 関東学生選手権(男女)</li><li>● 関西学生選手権(男女)</li><li>● 日本 U19 クリケットリーグ</li><li>● 日本 U15 クリケットリーグ</li></ul>	<p>出場</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ジャパンカップ地域予選<ul style="list-style-type: none"><li>○ 東北、エキシビジョンマッチに 2 チーム出場</li><li>○ 北関東、9 チーム出場</li><li>○ 東関東、13 チーム出場</li><li>○ 西関東、9 チーム出場</li><li>○ 南関東、10 チーム出場</li><li>○ 東海、3 チーム出場</li><li>○ 関西、12 チーム出場</li></ul></li><li>● 日本クリケットリーグ<ul style="list-style-type: none"><li>○ 1 部、10 チーム出場</li><li>○ 2 部、9 チーム出場</li><li>○ 3 部、8 チーム出場</li></ul></li><li>● 富士 40 リーグ、新型コロナウイルスの影響で未定</li><li>● 佐野 40 リーグ、新型コロナウイルスの影響で未定</li><li>● Women's J-BASH オールスターズ 1 回開催</li><li>● Women's J-BASH チャレンジリーグ 1 回開催</li><li>● 日本女子クリケットトーナメント、新型コロナウイルスの影響で中止</li><li>● 日本女子クリケットリーグ、5 チーム出場、新型コロナウイルスと雨天の影響で中止</li><li>● チャンピオンズウィケット(学生)開催</li><li>● 関東学生選手権(男女)、男子 3 チーム、女子 3 チーム出場</li><li>● 関西学生選手権(男女)、男子 4 チーム、女子 2 チーム出場</li><li>● 学生新人戦、新型コロナウイルスの影響で中止</li></ul>
--	---	---

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本 U19 クリケットリーグ、8 チーム出場</li> <li>● 日本 U15 クリケットリーグ、11 チーム出場</li> </ul>
ソーシャルリーグ	<p>女性、大学生、在日外国人などを主なターゲットに都市部で、また「クリケットのまち」で、スポーツと交流が気軽に楽しめる、革新的なソーシャル(簡易版)クリケットによって競技人口増加、ダイバーシティに富むコミュニティの形成を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● チャンピオンズトロフィー</li> <li>● SBI Cup(後援)</li> <li>● 佐野社会人リーグ</li> <li>● 昭島クリケット祭り</li> <li>● Women's J-BASH ソーシャル</li> <li>● その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チャンピオンズトロフィー、新型コロナウイルスの影響で中止</li> <li>● SBI カップ、新型コロナウイルスの影響で中止</li> <li>● 佐野クリケット祭り：3 回開催し、17 チーム出場</li> <li>● 昭島クリケット祭り：新型コロナウイルスの影響で中止</li> <li>● Women's J-BASH ソーシャル：3 回開催し、延べ 74 人が参加</li> <li>● スポンサー感謝デーでソーシャルクリケットを実施</li> </ul>
地域協会支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジャパンカップ地域予選開催支援</li> <li>● 設立、運営支援、その他活動支援</li> </ul>	<p>【地域協会支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3 月に予定されていた地域協会会議は新型コロナウイルスの影響でオンラインで個別面談を実施</li> <li>● ジャパンカップ地域予選開催を支援</li> </ul>

### 3) 強化事業

事業名	事業内容	事業報告
選手育成	優れたポテンシャルを持つ選手を発掘し、生涯にわたってスポーツにかかわる人材を育成する。特にクリケットの発展を担う人材や世	<p>【強化選手団・アカデミー等強化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女子日本代表強化選手団、ナショナルアカデミーのそれ</li> </ul>

	<p>界で活躍できる選手を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本代表強化選手団(男女)</li> <li>● ナショナルアカデミー</li> <li>● 海外チーム招聘</li> <li>● 強化試合</li> <li>● 女子選手発掘プロジェクト</li> </ul>	<p>それぞれの選考会を開催、男子日本代表強化選手団の選考会は新型コロナウイルスの影響で中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 男子、女子、アカデミーの各選手団のオンライン研修を実施</li> <li>● 海外在住プレイヤーとコミュニケーションを維持</li> <li>● 年間で強化活動を実施</li> <li>● 選手合意書及び負担金制度を改訂</li> <li>● 筑波大学及び仙台大学で女子選手発掘を開始</li> <li>● 東アジアカップの継続を関係協会と合意</li> <li>● プロリーグに日本代表選手を推薦し、1 名がプロ契約</li> </ul>
国際大会	<p>世界で活躍できる日本代表を育成し、アスリートのポテンシャル実現、スポーツによる国際親善、スポーツの素晴らしさの発信、クリケットの認知向上、ファン増加などを促進し、生涯にわたってスポーツにかかわる人材を育成する。特に、日本人スター選手の育成によって発信力を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ICC<sup>1</sup>U19 ワールドカップ東アジア太平洋予選（佐野）</li> <li>● ICC 男子 T20 ワールドカップ東アジア太平洋予選（佐野）</li> <li>● ICC 女子 T20 ワールドカップ東アジア太平洋予選（サモア）</li> <li>● 女子東アジアカップ(香港)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定されていた全ての国際大会が新型コロナウイルスの影響で中止</li> </ul>
PR・ファン醸成	<p>多くの人を魅了するイベント、プログラム、選手などの実施や広報により、クリケットの価値を発信し、競技人口やファンの増加を促</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ウェブサイト、SNS、試合のライブ配信、プレスリリース配信などを実施</li> </ul>

<sup>1</sup> 国際クリケット評議会の略称

進する。

- ウェブサイト、SNS、ニュースレターを活用した情報発信
- 元プロ野球選手のクリケット転向支援
- 定期的なライブ配信やビデオ配信

#### 【全国版メディア掲載】

- NHK で木村昇吾選手の挑戦放送
- 朝日新聞 withnews に山本武白志選手の挑戦記事掲載
- BS フジで山本武白志選手の挑戦放送
- NHK E テレが山本武白志選手の挑戦密着中
- 雑誌「河川」に寄稿
- 雑誌「地域人」に佐野市における「クリケットのまち」づくりに関する記事が掲載
- 山本武白志選手、和田颯太選手、脇田康平選手が The Answer で紹介
- NHK のリトルインディア西葛西特集でクリケット紹介
- 産経新聞「スポーツ茶論」でクリケット紹介
- The Japan Times でクリケット文化紹介

#### 【地域版メディア掲載】

- 女子日本代表強化選手団への仙台大学選手の選出が、河北新報、日刊スポーツ、仙台放送で紹介
- 仙台大学クリケット部がスポーツ報知で紹介
- 仙台大学と亘理町の連携協定の河北新報記事でクリケットについて言及
- 亘理町、JCA、仙台大学と「クリケットのまち」協定締結が河北新報で紹介
- 亘理町鳥の海公園多目的広場オープンが河北新報で紹介
- 山本武白志選手の書初めが渡良瀬通信で紹介
- 山本武白志選手のグッズ売上寄付がよみうりタイムズに掲載



- 上原良崇が栃木放送(ラジオ)に出演し、グランズマンの職業を紹介
- 佐野ブレーブスの 2020 年の日本 15 リーグ優勝が読売タイムズに掲載
- 和田選手の佐野移住が読売新聞で紹介
- Sano Cricket Dance が下野新聞、読売新聞、産経新聞、よみうりタイムズで紹介
- 新事務所及びティールームの完成が NHK 宇都宮放送局、とちテレ、佐野ケーブルテレビ、下野新聞、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、産経新聞で紹介
- 佐野市に移住したクリケット選手の佐野市長表敬訪問が下野新聞で紹介
- 佐野市長のインタビューが渡良瀬通信に掲載
- サポータークラブ島田会長のインタビューが下野新聞に掲載
- 宮地直樹事務局長のインタビューが毎日新聞に掲載
- サポータークラブ 10 周年記念式典が下野新聞、佐野ケーブルテレビで紹介
- J.T. Park が下野新聞で紹介
- 男子日本代表強化選手団への昭島選手の選出が西多摩新聞で紹介
- 昭島のクリケットブラストシリーズ・市長杯が西多摩新聞で紹介
- 昭島の体験会が西多摩新聞で紹介
- 川崎市での学校訪問の記事が読売新聞、東京新聞に掲載
- 三河新報に金田紋佳選手の学校訪問を紹介

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 貝塚市の東アジアカップ誘致表明が読売新聞に掲載【国際メディア掲載】</li> <li>● OZY で日本の U19 ワールドカップ出場を紹介</li> </ul>
--	--	--

#### 4) 組織事業

事業名	事業内容	事業報告
コミュニケーション	<p>情報発信や連絡会議などを実施し、ベストプラクティスや成功事例などを共有し、クリケット界の発展を支えるとともに、ダイバーシティに富むコミュニティの形成を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 総会及び地域協会会議の開催</li> <li>● ニュースレターの配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3月に予定されていた総会は新型コロナウイルスの影響で電子媒体で開催</li> <li>● 3月に予定されていた地域協会会議は新型コロナウイルスの影響でオンラインで個別面談を実施</li> <li>● ニュースレターを四半期ごとに配信</li> <li>● 各地域協会、大会運営委員会とのコミュニケーション向上に努めている</li> </ul>
ガバナンス &コンプライアンス	<p>健全で発展的な協会運営によって競技人口の増加を図るため、協会の発展に応じて、最善のガバナンスと最高のコンプライアンスを達成するために組織強化を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2名の理事が新任</li> <li>● ICC への 2020 年財務及び事業報告</li> <li>● ICC への 2020 年統計調査</li> <li>● ICC への 2021 年財務報告を四半期ごとに報告</li> <li>● スポーツ庁のガバナンスコードに基づき、ガバナンス改善取り組みを継続実施</li> <li>● 法務局への登記変更</li> <li>● 日本オリンピック委員会への年度報告</li> <li>● 日本アンチ・ドーピング機構への年度報告</li> <li>● 日本レクリエーション協会への年度報告</li> <li>● 国税庁へ収益事業における財務報告</li> </ul>



		● アスリート委員会を設立
--	--	---------------

## 5) 財務事業

事業名	事業内容	事業報告
寄付金・スポンサー	事業の拡大によって競技人口の増加を図るため、寄付金やスポンサーを募集する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三井農林株式会社とパートナー契約(物的支援)を締結予定</li> <li>● MKI 社及び TechM 社に定例報告を実施</li> <li>● J-BASH オールスターにパートナーを招待し、観戦会を実施</li> </ul>
その他の収入	事業の拡大によって競技人口の増加を図るため、受益者負担制度などにより、コスト負担の均等化を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 川崎に新たなジュニアクラブを開設</li> <li>● 佐野市国際クリケット場に事務所兼ティールームを設置し、部分的にオープン</li> <li>● ハイパフォーマンスマネージャーによる SICG アカデミーを開設</li> <li>● 佐野市国際クリケット場での教室拡充を検討中</li> <li>● BST の体育でクリケット指導を受託・開始(新型コロナウイルスの影響で再開未定)</li> </ul>